

警察署からお願い

川町(構成)では、東神楽町にある火葬場の建て替えを計画しています。現在策定中の実施設計の参考とするため、昨年度に作成した大雪葬斎場整備事業基本設計について、施設の基本的な機能や面積などへのご意見を募集します。

期間 6月8日(火)〜7月7日(火)
その他 基本設計書の閲覧や意見の提出方法は、東神楽町HPをご覧ください。

大麻は危険な違法薬物!

大麻は幻覚、記憶障害、学習能力の低下、人格の変化などを引き起こす危険な薬物です。違法薬物の使用は厳しく処罰されるほか、犯罪組織の資金源にもなっており、大麻の有罪性を否定する誤った情報を信じてはなりません。

暴力団追放! 「三不運動」

「恐れない・利用しない・金を出さない」「交際しない!」! 社会の脅威である暴力団は、企業を装うなどして生活に深く浸透しています。暴力団排除のため、違法・不当な要求があった時や暴

力団犯罪の被害を受けた場合は、早期に警察へ届け出て下さい。

指名手配犯の情報提供を!

警察では、指名手配犯を逮捕すべく日夜捜査を続けています。一部の指名手配犯には捜査特別報奨金を設定しています。一日も早い逮捕のため、小さなことでも警察へ情報提供をお願いします。

問合せ 旭川東警察署
☎34-0110

自衛官候補生の募集

次の日程で募集します。旭川駐屯地にある志願票に記入し提出してください。

応募資格 日本国籍を有し、4月1日現在で18歳以上33歳未満の男女

受付期間 試験日より異なる

試験日 6月13日(日)・14日(月)、7月11日(日)・12日(月)のいずれか1日

試験会場 陸上自衛隊旭川駐屯地(旭川市春光町)

問合せ 自衛隊旭川地方協力本部

南地区隊 ☎55-0100

税務職員の募集

国税局や税務署において、税のスペシャリストとして活躍する税務職員を募集します。

受験資格 高卒見込みまたは高卒後3年を経過していない者

一次試験 9月5日(日)
受付期間 6月21日(月)〜30日(水)
インターネットで受付
http://www.jinji-shiken.go.jp/juk-en.html

二ニュース

てんげつあん、食品衛生優良で最高位の表彰

4月27日、旭川地方食品衛生協会が21の個人・団体を表彰しました。良好な衛生状態を保ち食品衛生の向上に寄与した施設や功労者をたたえる賞で、毎年1回行われます。今回、(株)てんげつあん(南町1、高島郁宏社長)はその



▲共に「幸せ」をお届けするスタッフと。(右から2番目が高島さん)

中でも最も位が高く、上川管内で1施設のみが選ばれる北海道上川総合振興局長表彰を受賞しました。高島さんは「おいしいお菓子づくりは毎日の積み重ね。この受賞も、スタッフみんながこまめに店をキレイにしていることの成果だと思います。『甘いものは人を幸せにする』を信条に、少しでも良いものをみなさんにお届けするため、これからも頑張ります」と喜びと決意をコメントしました。

2社より企業版ふるさと納税

4月20日、大地コンサルタント



▲大地コンサルタント・千葉社長(左)



▲西山坂田電気・西山会長(左)

(株)旭川市、千葉新次社長)と西山坂田電気(株)(西山陽一社長)より、町に多額の企業版ふるさと納税(寄付)をいただきました。町が新型コロナウイルスとオリンピック後の観光サービスマネジメント回復のために計画中の、アイヌ文化を後世に伝える故・知里幸恵にまつわる映像の制作費用に充てさせていただきます。大変ありがとうございます。

留学生も交通安全学ぼう



4月28日、せんとびゅあー講堂で町立日本語学校の全校生徒約50名に向けた交通安全教室を行いました。内容は主に「自転車安全利用五則」の定着を目的とした動画の視聴で、「赤信号と一時停止では必ず止まる」「交差点では気を付けて止まる」などの交通ル

- ①自転車は、車道が原則、歩道は例外
②車道は左側を通行
③歩道は歩行者優先で、車道寄りを行
④交通ルールを守る(飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号順守と一時停止・安全確認)
⑤子どもはヘルメットを着用

役場臨時窓口の運転免許の自主返納



5月11日、町交通安全協会(米田保会長)が役場・町民ロビーで運転免許証の自主返納を行える臨時窓口を開設しました。「免許証を返納したいけれど、警察署まで行くのは難しい」という声にお応えし、旭川東警察署の協力を得て初めて開設しました。当日は14名

の方が来町され、免許の自主返納や運転経歴証明書(運転免許証の代わりに身分証明書として使えるカード)の申請などを行われていきました。近年車による悲惨な交通事故の報道が多かったこともあってか、みなさんの関心も高まっており「役場で手続きできるのは助かる」とのお声もいただきました。

新たに2社とオフィシャルパートナー協定

5月、2社とオフィシャルパートナー協定を締結しました。この制度は東川町と企業がパートナーとなり、地方や日本、世界の未来を育む社会価値の「共創」を目指す本町の特徴的な取り組みです。協定15社目となる明治安田生命保険相互会社旭川支社(森元敦士支社長)とは、包括連携協定もあわせて締結。同社の全国規模のネットワークを生かして健康づくりなどで連携していきます。

16社目となる(株)バリュークリエイト(東京都、佐藤明代表)は、大手企業の経営コンサルティングや教育・研修事業などを手掛ける会社。多くの企業と関わりのある会社と、東川町の情報発信や留学

「写真って、ほんとうにいいものですね」—お手紙をいただきました

写真甲子園の立木義浩審査委員長あてに、とても心温まるお手紙をいただきました。ご本人に許可をいただき、一部要約して掲載させていただきます。

昨年の写真甲子園で浦添工業高等学校写真部に撮影していただいた、田淵家の田淵将也と申します。このたびは審査員賞という素晴らしい栄誉をいただき、誠にありがとうございました。

みずみずしい感性の高校生たちは、わが家の子どもたちにとっては、時々遊びに来てくれる親戚のお姉ちゃんのような存在でもあり、テレビやゲームなどの娯楽のないわが家では、彼女たちが遊び(撮影)に来てくれるのをいつも大喜びで迎えていました。長女にいたってはいつも彼女たちの帰り際になると寂しがって物陰に隠れるほど、彼女たちのことが大好きでした(引き戸から家族皆がはみ出している写真の長女は、若干寂しいモードのようにも見えます)。

『いつもそばに』というタイトルはまさに当時の我が家のありようをストレートに表現してくれている気がして大好きでした。

賞の発表があった秋に長男が、今は私が入院しており、結婚生活始まって以来の大きな離別に続けて見舞われています。コロナ禍で触れ合うこともめったにできず、いつもガラス扉越しにメールを送り合っています。制限ばかりの入院生活の中で、あの古民家でのドタバタした日々が、輝かしい奇跡の瞬間の連続だったんだなあと感じられます。

いつもそばにいられることが、いかに尊い事なのか、離れてはじめて、深く深く気づかされる日々の中にいます。

写真部のみんなに撮ってもらった写真は白いアルバムに入れて、今病室にあります。時々見返しては、子どもたちとの楽しかった日々を思い出し、また、退院に向けて今日の日はがんばろう!と元気をもらっています。写真って、ほんとうにいいものですね。



▲写真甲子園2020 立木義浩賞『いつもそばに』(沖縄県立浦添工業高等学校)より、8枚の組写真の中の1枚。全作品は写真甲子園公式HPの「アーカイブ」よりご覧いただけます。